



祝祭日には



を掲げましょう



佐藤さんと北京冬季パラリンピックスキージャンプ競技金メダリスト川除大輝選手(写真本人提供)

キラリ
◆
金山びと

No.12

信念を持って努力する金山の子どもたちを応援しています

日本代表チーム ワックスマン 佐藤 勇治さん(十日町出身)

2022北京冬季パラリンピックスキージャンプ男子20キロクラシカル立位で川除大輝選手が金メダルを獲得したのは皆さんの記憶に新しいのではないのでしょうか。その、川除選手のスキースキ板上にワックスを施す、ワックスマンが佐藤勇治さん(十日町出身)です。

佐藤さんは、小学4年生からクロスカントリースキーを始め、高校卒業後は自衛隊に選手として入隊、30歳で選手として引退した後、全日本スキー連盟から声が掛かり、五輪代表チームのワックスマンを担当しています。オリンピックでは2002年のソルトレークシティー大会から4大会連続で日本チームのワックス担当を務め、2018年平昌大会では、新田佳浩選手の金メダル獲得に貢献するなど、最強の裏方として活躍されています。「自分は強い選手ではなかった。日本チームのワックスマンになるなんて思ってもいなかった」と語る佐藤さん。20年以上前から雪温やワックスの滑走具合などのデータを記録し、その豊富な知識が現在の佐藤さんを支えています。パラ代表の仕事を引き受けたのはケガばかりしていた選手時代があったからだそう。ケガをしていない部分をどうやってうまく使おうかという考えで練習に励んでいた過去があったから、「パラの選手の気持ちに共感できた」と話します。「失われたものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」これは、パラリンピックの創始者とされるルートヴィヒ・グットマン博士の言葉です。「できないことを悲しむ必要はない。自分の力を最大限発揮することが大事。自分のペースで信念を持って努力すればいずれ結果は出る」と佐藤さんは教えてくれました。

2030年冬季オリンピックの開催地は北海道札幌が有力視されています。「今の力はどうであろうと、自分がなりたい姿、叶えたい目標を持ち続けることが大切。地元金山から世界に羽ばたき活躍する選手が出ることに期待している。札幌冬季オリンピックで一緒に戦いましょう」と金山の選手にエールを送ってくれました。

金山町の人口は、5,059人(3月末現在)

男性	2,488人(-15)
女性	2,571人(-5)
世帯数	1,725世帯

3月の異動	
出生	3人
死亡	8人
転入	12人
転出	27人

編集
後記

▼新型コロナウイルスの流行から3年目の春を迎え、4月には3回目のワックス接種を実施しました。今回も皆さんの協力のもとスムーズに完了することが出来ました。ご協力ありがとうございました。少しずつ暖かくなりました。少しずつ暖かい日が多くなり、雪解けとともに新緑が美しい季節が近づいてきました。今年の春・夏はどんなことをしようかと今からワクワクしています。コロナによる制約が多いなかですが、活動的に日々を過ごしていきたいですね。